

製品名: IL-31 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12550**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	IL31
別名	Interleukin-31 (IL-31)
遺伝子 ID	386653.0
SwissProt ID	Q6EBC2
免疫原	抗血清はヒト IL31 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

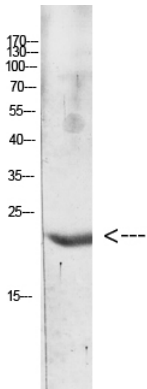
IL31 は、主に活性化 Th2 型 T 細胞によって産生され、上皮細胞およびケラチノサイトで恒常的に発現する IL31RA (MIM 609510) および OSMR (MIM 601743) からなるヘテロ二量体受容体と相互作用する。IL31 は、アレルギー性皮膚疾患の促進や、喘息などの他

のアレルギー疾患の制御に関与している可能性がある (Dillon et al., 2004 [PubMed 15184896])。 [OMIM 提供、2008年3月]、機能: IL31RA および OSMR からなる IL31 ヘテロ二量体受容体を介して、STAT3、および場合によっては STAT1 と STAT5 を活性化する。 IL31 は皮膚免疫に機能する可能性がある。 ,誘導: アトピー性皮膚炎 (AD) 患者の皮膚ホーミング T細胞および活性化循環 T細胞において発現が上昇する。アレルギー性接触皮膚炎 (ACD) 患者の病変生検において発現が上昇する。 ,組織特異性: 精巣、骨髄、骨格筋、腎臓、結腸、胸腺、小腸、気管において低レベルで検出される。 ,

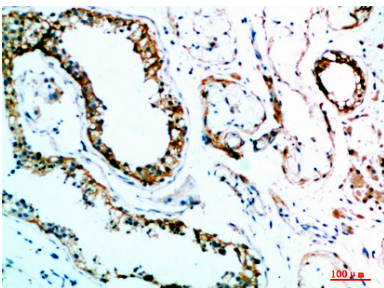
研究分野

-

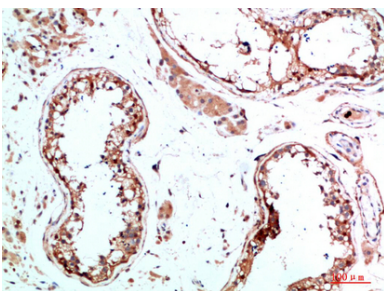
画像データ



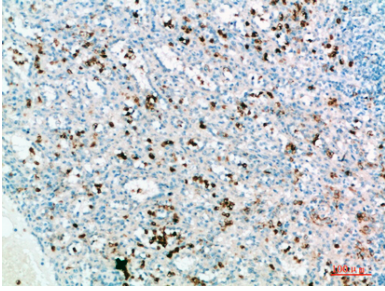
抗体を用いた Hela 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



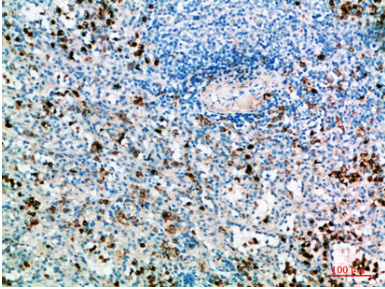
パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された